

以家原... 子... 記... 此... 可... 一... 三...
与... 中... 者... 一... 余... 亦... 亦... 亦...
よ... 如... 物... 一... 人... 子... 其... 可... 也... 亦... 亦...

興谷

十題泚秋合 嘉禎二年七月

題

朝霞

山花

郭公

秋露

夜床

時雨

思憲

久憲

羈旅

山家



作者

左

女房

前田大信

権大納言基家

沙弥道珠

侍従隆祐

少輔

散位親成

藤原友茂

右

従二位家隆

小宰相

正三位信成

如願法師 秀能

下野

散位長綱

散位家清

善真法師

一番

朝霞

左持

女房

志保まよりのいゝ名曜に家少さうきつる

右

従二位家隆

春の夜はねの月平の名跡をまの朝日と頼家

ねのうらなを判とら事いみちらよらてせう

されらりのえらひてたふこえれうい

なまらつてい海乃ほの清きとこい

しゆらとた乃劫の昔らうよ二十一字の云

系とほらわらうも素乃門れらうと軍九
ふのはらうとまよきれしとこのと何者

なれくしまさしく和詔乃道政を
るさそと十と世にありあせのまを
了ら文は道とてあふよはら
従二位家隆ハ和詔乃あさき
右介若撰者也るさらあまりの
あいまこい何ぞ世風し清と
かふふれをうてと一なるひく
えれ紫とあらしあこのすく
じこうもいなりて鷹也章使
きてとと軍に十と乃を

う集うて書はくらくら
及こされはまふふく
あしとあまのふも
志のふ乃杜のま家風よちん事
くさしりお月もさるの
さつらなろそんく
あらふんこのうら愚詔とりて家隆
あふ事道ようそし
あら福もというの
りれいてあはは

八代集のあひ首句く見ゆし六代程ゆ
つまらすいんちゆをぬるくこれの中
も十餘首あひこの一首もゆ及こ
ゆきいたしむふし一歌とよらんをも
見とらるくゆり志のまかしくは老毫
もよとらるすうにされくうとくふ
みゆらるるをうろくまろくゆへし一
乃たわかく勝事やうゆれともあま
ゆらるくくゆいよゆらす有るしは
ろ月来のぬ程まあは朝あまたより

多詞はゆいあゆはわくくゆりまこれ昔
一一番の者よ事をしせてゆえ勝負を
判せらる也

二番

左持 前内大臣

大原やまのの里の朝あゆいあゆい

右 小宰相

うしろ塩屋く里れ物あ春ののわらそみん
たあやまのの里れ物あをたよなゆしと
うあふゆいゆまらてみゆらうり茶よら

三番

しきりし物ふと右新もゆとて御く
しつとちらふとごつとてなれてな
みゆれとをにわいさく物持とす

左勝

権大納言基家

まろ夜れ阿くうあれさ田いれや津代のなうるは

右

正三位信成

物あま井とくけてん清さはいらふとては
右名をにつさくくみゆきたたつ津代家
大城くらしさるるるくわいらし

四番

左勝

沙弥道珍

あきわつうあれた立ゆり程あふ代のつるまら

右

如願法師

まろさあめりさうれんは成程あふとさあ
たろく程のいあふらよ賞覧す
阿のを右ううれいあふとさあ
らとすうりていあふ

五番

左勝

侍従隆祐

朝日新まゝ出座しぬ是引のこゝあはれ色そふ

五番 右 下野

山姥のあつ神とくれがわりよえうへら物新新

たうさせら難まゝ一者うあの新とあり

いしうへら物見新作りさふやうよ

いあやたうりくみゆれ勝とあり

六番

九持 少補

ふらこもりの月れあすの難よらんふそとみ

右 敬位長總

朝日新まゝ出座しぬ是引のこゝあはれ色そふ

左のこゝあはれ色そふと見えたり

しすみゆらなとつ白よとつと並て下白に

あふりゆらといふやすうたひゆらくゆん

右并いゆらといふとから事とみえす

新へゆり下白持

七番

左持 敬位親成

と物いまうきとみす法流流あはれらた浦風そ

右 敬位家清

春あなひく物けれ汐風よりぬ燈や浦よ立流

たあにありともみえずわが物

八番

左勝

藤原友茂

朝まらたきやあはれ泣きうらみえりし名も

右

善真法師

あはれ言けのまは朝きりし名も

左のまはりいみえりし名も

ゆきのまはりいみえりし名も

あはれ言けのまは朝きりし名も

あはれ言けのまは朝きりし名も

九番 山花

左持

女房

人なごりてわが花の色は昔より

右

お隆

たうもせし思ひうちきし梅花

あはれ言けのまは朝きりし名も

あはれ言けのまは朝きりし名も

あはれ言けのまは朝きりし名も

あはれ言けのまは朝きりし名も

十番

右勝

前田大信

数かゝるいさかひをめでたし此末の花もみさふ

右

小亭お

まゝいさかひをめでたし此末の花もみさふ

右勝をいさかひをめでたし此末の花もみさふ

乃もかきさうくみも仍い左の勝

十一番

左

権大納言

白雪のあゝいさかひをめでたし此末の花もみさふ

右勝

信成

うらやまの梅のつらりいさかひをめでたし

左のいさかひをめでたし此末の花もみさふ

いさかひをめでたし此末の花もみさふ

うらやまの梅のつらりいさかひをめでたし

うらやまの梅のつらりいさかひをめでたし

うらやまの梅のつらりいさかひをめでたし

十二番

左

道珍

うらやまの梅のつらりいさかひをめでたし

右勝

如願法師

才ふくてもうもろく梅花がぬみとけ着るん
たのこころいふもやうのと誦とをさうさ
とつふ昔後成入道志さうりふさうと
いぬの別よ何うをうふ徳事とさう
けと戸作りさうたさうさ下白蓮も也

十三番

左勝

隆祐

梅花さよほまはらう白蓮れたさういふ徳事とさう
右 下野

梅さくたうのいれまはらういと昔とさういふ徳事とさう

たさささう箱まー右さうれいやすさう
みや懐舊のいれまはらういれをさうさうた勝
勝へさうや

十四番

左勝

少輔

あちうと花よりおの色をたれうさからいれ徳事
風

十五番

右 長綱

うささわたりまはらういれをさうさういれ徳事
たうさうさういれをさうさういれ徳事

しるしはくちのしるし

しるし

十五番

丸勝

親成

山たろみみれし白花梅くすしるし

十六番

家清

ちくまのしるし

右手しるし

しるし

しるし

しるし

丸勝

十七番

丸勝

梅くすしるし

善真法師

花くすしるし

たすしるし

しるし

しるし

つよきしるすから本おぼへてはやくらな
くはしるすから本おぼへてはやくらな
らるるまゝのしるすから本おぼへてはやくらな

十七番 郭公

右持 女房

こころちかしくなると子祝福えのそふ一考は

十八番 右 家隆

おもしろいこといふは新と昔のちがひをいふは

たのしみ新と昔のちがひをいふは

かきとくへやちんちゆうくちあつては

みも右のちがひをいふは

十八番

右持 前田大臣

おもしろいこといふは新と昔のちがひをいふは

右 小室お

おもしろいこといふは新と昔のちがひをいふは

おもしろいこといふは新と昔のちがひをいふは

おもしろいこといふは新と昔のちがひをいふは

おもしろいこといふは新と昔のちがひをいふは

うみみだに... けりりわたり持

十九番

大持 権大納言

かれやうし... 子親河の國... 大納言

右 信成

ふたして... 勢と... 子親河の國... 大納言

右 大持

二十番

大勝 道珠

阿き... 勢と... 子親河の國... 大納言

右 如願法師

今も... 勢と... 子親河の國... 大納言

右 大持

うや... 勢と... 子親河の國... 大納言

廿一番

大勝 隆祐

あ... 勢と... 子親河の國... 大納言

右 下野

梅... 勢と... 子親河の國... 大納言

右のいふは... 右のいふは... 右のいふは...

廿二番

大勝

少浦

又月雨名... 又月雨名... 又月雨名...

名 長綱

すゝぬし... すゝぬし... すゝぬし...

右のいふは... 右のいふは... 右のいふは...

右のいふは... 右のいふは... 右のいふは...

右のいふは... 右のいふは... 右のいふは...

右のいふは... 右のいふは... 右のいふは...

右のいふは... 右のいふは... 右のいふは...

廿二番

大持

親成

右のいふは... 右のいふは... 右のいふは...

名 家清

うら... 花梅の又月... 花梅の又月...

右のいふは... 右のいふは... 右のいふは...

右のいふは... 右のいふは... 右のいふは...

引のころあまのこしりくも
秋の月をみらんこころの
かきつらむまにふらふら

古四番

友持 友茂

おぼろふれけそらつるさ
かきつらむまにふらふら

善真法師

物りの夜も昔いづねと
おぼろふれけそらつるさ

古右ととらふらふら

廿五番 新落

丸 女房

まの葉はなをさるむら
おぼろふれけそらつるさ

右勝 家隆

まの葉はなをさるむら
おぼろふれけそらつるさ

古のこころかりさき

まの葉はなをさるむら

おぼろふれけそらつるさ

廿六番

た 前田大信

おぼろふれけそらつるさ
かきつらむまにふらふら

右勝 小室お

乞かきい風なやうまもろろいねらら
直のこい處ろろすれらりし風り
しうろこいまもろろすてさうり
古今ちゆれたしこえんふい
ちすこし難さうろりくみぬ

廿七番

右持 権大納言

たろまのすろれき
右 信成

廿八番

右 道珍

久あれあまふの海く
右ちも
右 如願法師
白
た右
す

廿九番

た勝

隆祐

高城野とあるはたはたのふんがらわらるる秋葉

た

下野

のむらゝ宿はものこそ神さゝるふとれよのむら

たのこゝるふやうあ秋葉のも頗る秋葉

くみもたのう是も難みすすれたた

の勝とすへー

三十番

た持

少輔

玉とわくまのいと秋のさうらふふとれを秋の秋の書

右

長徳

約とつ河やふん白秋のゆくは秋葉の巻

た右たに詞やとかりとつたはあおのりも

卅一番

た

親成

あまうらたは秋の色はなぬいふあふれこころん

右勝

家清

そくは秋のたしは秋をえにあまらやるは秋のん

たのこゝる秋のん人ふらひとらうしとるも

あまうらたは秋の色はなぬいふあふれこころん

乃也元平為勝

元二番

元持

友茂

うた葉のあゝの原は秋風と色をいづる葉は

右

善真法師

まよりれら涙もあつた下糸もけり秋は花

た右左にたひし秋の世に右のうらふら

あゝいゝらあゝいゝらあゝいゝらあゝいゝらあゝいゝら

の病とたふ事おぼくやうもあつた病

を人の病よりらわら事おぼくやうら

せきとらふらふらふらふらふらふらふらふらふら

あ持

元二番 夜鷹

元

女房

くもる桂れけふの床のしつとけりておろし

右勝

家隆

まの河秋は一夜れおろしとてこのに床はあつた

右のうら秋のいゝ秋のあつたといひて

のうら鷹のいゝいゝいゝいゝいゝいゝいゝいゝいゝ

也惟高の清子に燈は移して七夕つら

宿りし昔まてこいようへ舞れぬわが
ゆり左のうさすくくくくくくくく
わくふぶらとりあゆみすかとり
舞ゆんすしいう様も右のうら
送とみけれぬ常のこかへおに
あすを右あゆ

元四番

上 権太

前 同太

のこも初とび梓らしいのよの棹意れ

右 勝

小 幸お

舞ゆんすしいう様も右のうら

左のこも初とび梓らしいのよの棹意れ
風の牙いさしきしは
軽しくもあふくくくくくく
まゆらふくくくくくく

元五番

元 権太持

権 大綱言

まのこも初とび梓らしいのよの棹意れ

右

信 成

すみのわら月さくくくくくくくく
かん

たさきつとみ葉の家さうしとくふや
くさつととち乃こ福られた麻や夜こ
じあんととちふとやうくみや仍ちわ

元六番

元

道珍

わさつふ湯やあつ夕月本れくれ麻とち

右勝

山形法師

まじあ風の吹くくささうらかく麻のあつとち
たさつととち乃こ福られた麻や夜こ
じあんととちふとやうくみや仍ちわ

元七番

元持

隆祐

じと玉乃車危文わんさの都すうらつとち

右

下野

煉の夜あまふ麻のこさていまこ持からとち
たさつととち乃こ福られた麻や夜こ
じあんととちふとやうくみや仍ちわ

元八番

元

少輔

とさつととち乃こ福られた麻や夜こ
じあんととちふとやうくみや仍ちわ

右勝

長綱

本を教夜との片月新ふんすこや麻とかんん
たのこ本は葉の敷りにり夜毎はたとろ
ららちまふのみおきたちうりし
くま田れわ務

卅九番

た持 親成

河のうらみはつと風は来すにかく福をうけ

右 家清

あでこに福免想つこ秋の来よりこがら麻の
たのこ来こいさく福をうけあけとこりか
よえんちもゆり信ちうこりうこらら麻

乃ちらんとうらうらうらうら麻のかつ
ゆるくやうりん麻の秋の萩原物らそ
ちんちも誇ら右ちのこすく勝方う
みる不わ打

四十番

た勝 友茂

山の杜のちうふんちうら来と秋の城のち
ら

右 善三法師

うよ竹の来もれ秋の風いこく麻の福免
たのこちんちの杜のちうふんちうら

四十一番 時雨

いふよりいふより日ち長を足すはつと風を
勝方多く見ゆれを程に増へくわゆは勝

丸持

女房

のさくさくあつたよりのうらみはあつた時雨は

右

家隆

くさくさあつたよりのうらみはあつた時雨は

右 丸持

あつたよりのうらみはあつた時雨は

あつたよりのうらみはあつた時雨は

四十二番

丸持

前田大后

あつたよりのうらみはあつた時雨は

右

小宰相

あつたよりのうらみはあつた時雨は

あつたよりのうらみはあつた時雨は

あつたよりのうらみはあつた時雨は

あつたよりのうらみはあつた時雨は

四十三番

丸勝

権大綱言

風じきふしこし河雨うらうらり村雲

早五番

信成

おきくもよしとくもつらむくあもいもあつあつ

おのこ河雨せせくあつあつあつあつ

た乃ちあつあつあつあつあつあつあつ

きてみおれし可あつあつ

早五番

九

道珍

秋は色も河雨よりうらうらりあつあつあつあつ

早五番 九

如願法師

あつあつあつあつあつあつあつあつあつあつ

左のこつあつあつあつあつあつあつあつ

うらうらあつあつあつあつあつあつあつ

あつあつあつあつあつあつあつあつあつ

けうあつあつあつあつあつあつあつあつ

あつあつあつあつあつあつあつあつあつ

あつあつあつあつあつあつあつあつあつ

早五番

九

隆祐

秋の月あつあつあつあつあつあつあつあつ

右勝 下野

つとれぬ音の残くぬてこへる音もさそ何あに

左のこころのわかれさなほ風よみかれこ
うらうらうらうらうらうらうらうらうらう
何あにさきうといへるもわらへてさきう
くみかれを程じうらうらうらうらうらう
あこれゆれへ勝とすへ

四十六番

九 少唄

何雨ゆく日数とへつうらうらうはまも色のみを

右勝 長調

この砂の尾と名をた何雨うらうらうはまも色のみを

左のさうはらわはる色のみを
うらうらうらうらうらうらうらうらう
うらうらうらうらうらうらうらうらう
うらうらうらうらうらうらうらうらう

四十七番

九勝 親成

祢月時あうらう榎屋。昔うらうはまも色のみを

右 家清

何乃色もみそを神さうらうはまも色のみを

たのこころまらうはまも色のみを

八河ぬれもくろりこよらうあられのひらぬ
家の中より右のつたといふらうい移りて

平八番

丸持 友成

うら月津じかくれのうのつぬたうはあうらあみとん

右 善真法師

しづれ風うさうしりゆまに村まういふまに

丸哥たるはあうらあみとんといふらう

とぞしづれ右材まういふまにといふらう

しづれ風うさうしりゆまに村まういふまに

あうら月津じかくれのうのつぬたうはあうらあみとん

さういふらういふまにといふらう

四十九番 忠徳

丸持 女房

ひとたのめむらゆの神と色にあふあうらあみとん

右 家隆

あうら月津じかくれのうのつぬたうはあうらあみとん

左れいさうさうらうらういふまにといふらう

詠借の中に竹れを移りてあうらあみとん

うまはとくふおしくもかむかむのふりき
たふらふら難うくは持とす

六十番

左

前田大信

つらと心のさしへんはたのふりかへん

右勝

小宰相

うらと心のさしへんはたのふりかへん

たろと下向のふりかへん

とくふ中務のふりかへん

とく事のふりかへん

一勝うらと心のさしへんはたのふりかへん

おめくもつと心のさしへんはたのふりかへん

ゆりし右のふりかへん

いふと心のさしへんはたのふりかへん 持勝

六十一番

左勝

権大細

渡河神の玉の下みられんをいせんせく

右

信成

おまをいせんせくをいせんせく

た者たよまをいせんせくをいせんせく

トみされしふやうくうや切左の勝

二十二番

九

道环

かふしをやみしきし夜をたしあまの病とてを

右勝

如願法師

声のむしきくうう夕猶もはしむるを

左れしうくもみえおと名うき

おしゆらもみんといりり

ゆりては揚

二十二番

九持

隆祐

くしききの松はけてううあむら

右 下野

ふふきし又ちうくもくうう

左のこむきよ黄いし風情のちやま

ちうくもくううううううう

もれたの帯れううううう

このこむきよとれうううう

あふくあむらううううう

うあ物

六十番

丸勝

少補

〜〜〜〜若くは子く〜一神〜〜〜

右

長延

いふぞん者下ひあつ〜〜〜

たつ〜〜〜しと思ふ志よたつ〜〜〜

〜〜〜しん〜〜〜しん〜〜〜

〜〜〜者の下形あつ〜〜〜

う〜〜〜の〜たつ〜勝〜

六十番

丸勝

親成

下にの〜母ふ湯や〜〜人あ〜〜ら丸草おら〜

右

家清

お〜ふ〜を〜母〜中〜く〜は〜つ〜い〜も〜う〜神〜

た右をい下白〜〜〜し〜〜〜し〜〜とた下

おろ〜母ふ湯や〜〜い〜ぶ平橋よ〜〜

と志央〜〜〜しよ〜あ〜られ〜ら〜い〜

ゆん〜と〜ら〜ぶ〜ら〜と〜ら〜右中〜た〜文

字小中〜〜い〜と〜な〜け〜い〜〜ら〜ん

ち〜わ〜や〜ん〜左の〜下白〜〜〜

己の勝

五十二番

左持

友茂

かきけはあふ家志はたきくそとみくろ神の月紀

右

善真法師

まろひつれいあひきんじきくろ油るまかひ知

おのういとうくろいんきんきんきんきんきんきん

えんたろういんじきくろいんきんきんきんきん

かきくろいんきんきんきんきんきんきんきん

いんきんきんきんきんきんきんきんきん

五十七番 久恋

左持

女房

いとまにみくろいんきんきんきんきんきんきん

右

家隆

おせいのつれいんきんきんきんきんきんきん

ちろいんきんきんきんきんきんきんきんきん

ちろいんきんきんきんきんきんきんきんきん

ちろいんきんきんきんきんきんきんきんきん

五十八番

左持

前田大后

ふまきし... ねん... ねん...

五十八巻

小宰相

事を治る... ねん... ねん...

ねん... ねん... ねん...

ねん... ねん... ねん...

ねん... ねん... ねん...

三つ持

五十九巻

九勝

権大納言

山城の... ねん... ねん...

右

信成

う... ねん... ねん...

ねん... ねん... ねん...

ねん... ねん... ねん...

ねん... ねん... ねん...

ねん... ねん... ねん...

ねん... ねん... ねん...

六十巻

九

道珍

い... ねん... ねん...

ねん... ねん...

右勝 如願法師

あつらひしきまふらうの痛みのいふまじきいん

右へ湯をくぐりてさしつかへなく
聊たつらうくさうも湯をくぐりていん
とせのまきうらぐおむらねいせいせう
なく見ぬれしころ後

六丁番

右勝 隆祐

流し水へおきり玉れそのまじきいん

右 下野

をなしていけいさうの掬らふもいけ

右へ湯をくぐりてさしつかへなく
をさすは掬らふこと下へさしつかへなく
らうらりたあ一本もさすはさしつかへなく
聊勝

六丁番

右勝 少浦

柳も伐ちわらわんてさしつかへなく

右 長尾

流し水へさしつかへなく
右へさしつかへなく
とさしつかへなく
とさしつかへなく

六十番

左

親成

手くさくさきしむる痛のいふ女しあ女

右勝

家清

あそりくろくろくこひかたから根のあつ

左うしろふまらん〜まら〜

字勢う〜の〜

右勝

六十番

左持

友茂

おまらちられさう起あそり〜

右

善真法師

ふふふあ〜の〜

右者ま〜せら難〜みゆれ〜

六十番 新撰

左

ゆ序

教うわ〜あ〜れ〜

右勝

家澄

おさ〜し〜ま〜し〜

左同かれ〜

六十六番

とみぢらと者うたはらごんははたさむ
は風とつひく夕べの風のついでに
とつたみよらう〜くはに大勝うら

左勝

龍門大伝

日教くまのなまのついでに

右

小宰相

古つれ便も〜わりの磯は海〜らと袖ふりききり

右〜の〜
みら〜とほけ〜
〜く〜みぬれを左勝〜

六十七番

た持

権大納言

舟〜しつしつ藍の夕の〜

右

信成

ま〜の〜
右〜海〜
〜は〜
〜は〜
〜は〜
〜は〜
〜は〜
〜は〜

六十番

とこしあふりしつこころいむむと
結しわうりし右のこころに
くまむしこた。勝らむむしつわ物

丸持

道珍

あつべきに桃の葉のさるでしはば
けあつ月影

右

如願法師

和厚原むしつげくころころむしつわ物
つわ物

右あつむしつわ物

はつらむしつわ物

つげくころころむしつわ物

きむしつわ物

六十九番

丸持

隆祐

らあつむしつわ物

右

下野

いあつむしつわ物

たあつむしつわ物

あつむしつわ物

あつむしつわ物

七十番

丸勝

少輔

あつむしつわ物

た

長徳

うらみつちもよきとらふしに

たのしみちりしに

もたふしに

七十二番

た

親成

たのしみちりしに

右勝

家言

たのしみちりしに

たのしみちりしに

七十二番

た

友茂

のたのしみちりしに

右勝

善真法師

のたのしみちりしに

たのしみちりしに

のたのしみちりしに

のたのしみちりしに

のたのしみちりしに

のたのしみちりしに

のたのしみちりしに

のたのしみちりしに

七十二番 山家

左勝

女房

新あきてくれふは岩城十の巻

右

家持

いづはあらぬはあはれしむとていふまじしに
右ちたよふちつらふ家。あつといふ
みわをいふらんらいつくす
あひせんかすすういふあつて
あつてはあつて一番の勝は
いふ

七十二番

左勝

前田大信

あつてはあつて一番の勝は
右
小宰相

いづはあらぬはあはれしむとていふまじしに
右ちたよふちつらふ家。あつといふ
みわをいふらんらいつくす
あひせんかすすういふあつて
あつてはあつて一番の勝は
いふ

七十二番

右持

権大納言

あつてはあつて一番の勝は
右
信成

すこくせうのたぐいしつむらひのつらねをたぐひの

右をよむむらひのつらねをたぐひの

と勝方なけきつるる物

七十六番

た

道珍

長巻の里くさつてつらねをたぐひのつらねをたぐひの

右勝

ゆねはつ

たぐひのつらねをたぐひのつらねをたぐひの

右のつらねをたぐひのつらねをたぐひの

右のつらねをたぐひのつらねをたぐひの

こりつらねのつらね

七十七番

右持

隆祐

こりつらねのつらねをたぐひのつらねをたぐひの

右

下野

こりつらねのつらねをたぐひのつらねをたぐひの

右のつらねをたぐひのつらねをたぐひの

七十八番

右持

少輔

こりつらねのつらねをたぐひのつらねをたぐひの

右

長巻

ふくせのとき時たかきありふくせのふくせのふくせ

右巻よよせら難かきつり

七九番

た持

親成

ふくせのときつりてたかきつりてたかき

右

家信

ふくせのときつりてたかきつりてたかき

ふくせのときつりてたかきつりてたかき

ふくせのときつりてたかきつりてたかき

半巻

左

友成

ふくせのときつりてたかきつりてたかき

右勝

善真は部

ふくせのときつりてたかきつりてたかき

右右たよせら難かきつりてたかき

ふくせのときつりてたかきつりてたかき

勝貞

丸

女房

勝一頁三持六

前月大后

勝三頁三持四

基家

勝四頁一持五

沙弥道源

勝二頁七持一

隆祐

勝五頁一持四

少将

勝五頁二持三

親成

勝三頁二持四

友茂

勝二頁三持五

右

家隆

勝三頁一持六

小宰相

勝三頁三持四

信成

勝一頁四持五

如願

勝七頁二持一

下野

勝一頁五持四

長尾

勝二頁五持三

家清

勝三頁三持四

善真

勝二頁二持五

Faint bleed-through text from the reverse side of the page, including names like '家隆' and '小宰相'.

110x
644
1

つたんとよあろろり

女交

新交

新交

新交

新交

新交

新交

新交

新交

新交

新交

新交

新交

新交

新交

新交

新交

新交

新交

新交

新交

新交

新交

新交

新交

新交

新交

新交



